

【本年度の研究の全体構造図】

学校の教育目標
認め合い高め合い未来を拓く
(知) 深く学び合い 表現する子
(徳) 思いやりをもち 支え合う子
(体) 心と体を鍛え やり抜く子

年度の重点目標

「自覚を促し 輝かせよう」～基本や習慣を大切に 自覚を促し活躍させて 主体性を育む～
○目標をもって、粘り強く学ぶ 〈学習の動機付け〉
○気持ちを合わせる、通わせる 〈規律ある集団生活〉
○心身を鍛え整え、笑顔輝かせる 〈心身の健康増進〉

学校研修テーマ・副題

やってみよう、やってよかった、またやろう
～主体的に学びたいと思える授業の創造～

【研究内容】

○できないけどやってみよう、進んでやってみよう
→ 自ら学ぶ児童を生み出せるよう、どんな授業改善が必要？

○話を聞こう、友達に伝えよう、学び合おう
→ 話す力・聞く力の系統性を重視した指導が必要？
→ どんな授業で話したい聞きたいと思える？
→ 子どもが学び合えるように、授業の流れ、
発問や教材をどう考える？

○みんなが学びやすい学級
→ どんな学級だと児童がのびのび活動できるのか？

○「自分の考えを形成する」「新たなものを創り上げる」「自分の思いや考えと結びつける」
ことを身に付けよう
→ 児童が最後の段階で自分の考えを形成できるようにするには？
→ 新たなものを創り上げるってどんなこと？

児童の実態・保護者地域の願い

補足：全国学テより

- 国語 ・思判表「書くこと」全国より3.2%低い ・「短答式」漢字を文中で正しく使う 全国より3.1%低い
算数 ・「数と計算」では、全国より3.1%低く、「変化と関係」では、全国より6.3%低かった(令和3年度の「数と計算」では、全国より6.8%低く、「変化と関係」では4.0%低かった)。
・問題形式における「記述式」では、全国より3.4%低かった。
児童 ・「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」※全国-7.2%
・「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」 ※全国-7.4%
・「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」 ※全国-20.0%
・「学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、ICT機器をどの程度使っていますか」 ※-7.7%

「研修計画」

月	日	曜日	回数	内 容	主な行事
4	12	水	①	1. 研究概要の説明 2. GW)テーマから想像する子どものイメージ 3. GW)研修テーマからどんなことができそうか 目的：研修内容，具体化した目指す研修のゴールの共通理解を図る。今後の見通しの明確化。	参観日 19日(水)・20日(木) 避難訓練28日(金)
	27	木	②	1. 研修①の内容を受けて修正した今後の予定の説明 2. GW)学級経営について 3. 「話すこと・聞くこと」の資料提供 目的：今後の見通しの明確化。教員側の学級経営の引き出しを増やす。話すこと・聞くことの情報共有。	
5	24	水	③	1. 特別支援の視点で学び合おう！ 目的：特別支援の視点での授業改善を図れるようにする。また，交流学級では何ができるのかを考えていく。	運動会30日(火)・31日(水)
6	21	水	④	1. GW)これまでの取り組みのふり返し(ICT含む) 2. 授業を見合おう週間①(仮)の日程調整 目的：これまでの授業改善の成果，課題をふり返し，今後に生かす。授業の日程を決定する。	遠足6日(火) 宿泊学習13日(火) 14(水) 保護者教育相談
7				なし	修学旅行11日(火) 12日(水)
8				なし	
9	13	水	⑤	1. 指導案の提案と作成 2. 授業を見合おう週間②(仮) 目的：初任，ベテランに関係なく，今一度指導案の作成の仕方と授業作りについて学び合う。	持久走記録会12日(火)～ 通知票提出21日(木)
10				なし	参観日5日(木) 6日(金) 学芸会24日(火) 25日(水) 26日(木)
11	22	水	⑥	1. GW)「1組」の授業からみんなで考えよう 目的：各学年の1組の授業を見て，みんなで授業改善について話し合い，今後に生かす。	学芸会1日(水) 2日(木) 児童教育相談・保護者教育相談
12	13	水	⑦	1. GW)「2組」の授業からみんなで考えよう 目的：各学年の2組の授業を見て，みんなで授業改善について話し合い，今後に生かす。	保護者教育相談
1	17	水	⑧	1. GW)「3組」の授業からみんなで考えよう 目的：各学年の3組の授業を見て，みんなで授業改善について話し合い，今後に生かす。	スキー学習
	24	水	⑨	1. GW)研修のふり返し 目的：今年度の研修の成果を研修の視点，子どもの姿からふり返し，次年度に生かす。	
2	14	水	⑩	1. 次年度の方向性の確認 2. アンケート)次の「やってみよう，またやろう」を教えてください 目的：次年度の方向性を伝えた上で，みんなで更に成長するための取り組みを考える。	参観日20日(火) 21日(水)

※ GW → グループワーク

補足説明

授業を見合おう週間：授業に入ってくれている先生方，授業を見た管理職からの担任へのフィードバック，担任同士の授業改善の話合いが主な活動。詳細は未定。
担任個々の授業改善，日常的に指導について話し合える職場作り（同僚性を高めること）を目的とする。

研修の時間

「特別支援の視点で学び合おう」

☆特別支援の視点での授業改善を図る。

「学級経営について」

☆学級開きのアイデアなどについて話し合う。

永山小学校

「授業を見合おう週間」の実施

- ☆改善Tがなくなった今、誰かに見られる機会が少ない。
- ☆授業を見る、見られることで新たな発想が生まれる。
- ☆見られることで子どもの意欲が上がる。



見る側が感想などを授業者に伝えることで、
次の授業改善に繋がっていく。

「授業からみんなで考えよう」の実施

令和5年度 研修テーマ 「やってみよう、やってよかった、またやろう~主体的に学びたいと思える授業の創造~」

第4学年

方法を選択し、
自信をもって学べる子

令和5年9月13日(水) 5校時 実施

社会科「水害からくらしを守る」(12時間)

児童 4年3組 33名

指導者 斎藤 邦彦

1 教材について ※内容&内容の取扱い 学習指導要領から抜粋

(1)内容

自然災害から人々を守る活動について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

【知識・技能】

- ① 地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解すること。
- ② 聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、まとめること。

【思考力・判断力・表現力】

- ① 過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現すること。

☆指導案の作成

☆授業動画を見ながら授業
改善について話し合う

研修の時間

①次年度の方向性について

できない→できるかも→できた→もっと

基礎
学力

主体・対話・深いを根っこにした
「わかる」授業を目指して（授業作り）

ICT
活用

新しい
教科書への対
応

学級経営
（学習集団づくり）

特別支援の
視点

個別最
適
協働的

学年で

ブロックで

枠を超えて